



件名				
次期学長候補者の選考結果について				
内容				
<p>公立大学法人下関市立大学定款及び公立大学法人下関市立大学学長の選考及び解任に関する規程（平成21年規程第19号）に基づき、学長選考会議において、現学長の任期満了に伴う次期学長候補者の選考を行った結果、下記の者を選考いたしましたのでお知らせいたします。</p>				
記				
次期学長候補者氏名	はん ちゃん わん 韓 昌 完			
生年月日	1969年9月17日（55歳）			
最終学歴	東北大学大学院 医学系研究科博士後期課程（博士（医博（障）第88号） 東北大学大学院 経済学研究科経済・経営学専攻博士後期課程 （博士（経博（経営）第84号）			
主な経歴	韓国，ウソン大学保健福祉学部助教授 東北大学大学院医学系研究科 Visiting Professor 韓国，ウソン大学保健福祉アカデミー所長 琉球大学教育学部教授 公立大学法人下関市立大学理事 下関市立大学副学長・教授 下関市立大学学長			
以上				
問合せ先・担当者連絡先				
事務局長	問合せ窓口（総務部）		連絡先	
よしか まさひこ	よこやま やすたか		083-252-0288	
吉鹿 雅彦	横山 康貴			
提出日	2024年10月11日	広報連絡先	Tel.083-252-0288	jinji@shimonoseki-cu.ac.jp

2024年10月11日

下関市立大学次期学長候補者の選考について

公立大学法人下関市立大学 学長選考会議

公立大学法人下関市立大学学長選考会議（以下「学長選考会議」という。）は、公立大学法人下関市立大学定款及び公立大学法人下関市立大学学長の選考及び解任に関する規程（以下「学長選考規程」という。）に基づき次期学長候補者を下記のとおり選考したので、学長選考規程に基づき下記のとおり公表する。

記

1. 次期学長候補者

(1) 氏名 韓 昌完 氏

(2) 任期 2025年4月1日～2028年3月31日（3年）

2. 選考に至る経過

現学長の任期が2025年3月31日で満了することに伴い、次期学長候補者を選考するため理事長が6月に学長選考会議を招集した。

学長選考会議は、学長選考規程第3条及び地方独立行政法人法第71条第6項の趣旨に則り、学長選考基準を定めるとともに、理事会に対し当該選考基準を示した上で、候補者候補の推薦を求めた。理事会から3名の連名により推薦のあった候補者候補に対し、学長選考会議は、学長選考基準を示した上で所信を提出させ、その後、所信の詳細なプレゼンテーションを求め、質疑応答を行った。これらを基に、学長選考基準に照らし審議を行い、上記1の次期学長候補者を選考するに至った。

学長選考会議の詳細は、別紙のとおり。

3. 選考の理由

学長選考会議で、韓 昌完候補者候補から提出された所信やその詳細なプレゼンテーション及び質疑応答を基に、同氏を選考するに至った主な理由について以下に記述する。

同氏は、これまで学長としての2年余の在任期間において、データサイエンス学部の設置、看護学部設置認可による総合大学化にリーダーシップを発揮するとともに、学生アンケート結果でも示された学生の満足度、習熟度の向上など、学生中心の取組に注力し、その成果があらわれ始めたことについて評価できる。

また、近い将来、18歳人口が大幅に減少し大学経営に大きな影響を及ぼすこ

とが明白な中、地方公立大学として存続していくための具体的な方策を「VISION2040」で明確に示し、その内容は高く評価できる。

一方、質疑応答の中において、候補者候補自身が最も取り組むべき重要な課題として挙げた研究力の向上の実現について、全学一丸となってなし遂げるためにも、これまでの任期中にも取り組んでこられた、学内のコミュニケーションをはじめ様々な工夫や努力について、より一層の努力を図られ、「VISION2040」が着実に実現されることを期待したい。

大学を取り巻く環境が一層厳しさを増し課題が山積する中、学長として更なるリーダーシップを発揮することの重要性は言をまたない。質疑応答において、候補者候補は、学長とは模範となるべき存在であること、また判断や決断には責任が伴うこと、これらによる大きな重圧があるとの認識のもと、引続き本学の舵取りをしていく強い思いと覚悟があることが示された。

これらを踏まえ、学長選考会議は、韓学長候補者候補が学長選考基準を満たしていると評価できることを確認した。「VISION2040」などの着実な実現に向け、更なる努力と成長に期待し、全会一致で次期学長候補者に適任であるとして理事長に申し出ることとした。

委員 吉鹿 雅彦

委員 杉浦 勝章

委員 嶋本 健児

委員 足立 俊輔

委員 中村 信悟

委員 中林 浩子

(注 原本は、署名)

学長選考会議の詳細

- 2024年6月3日 第1回学長選考会議 開催
・議長の互選、議長が職務代行者を指名
・12月末日までに学長候補者を決定することを確認
- 2024年6月24日 第2回学長選考会議 開催
・学長選考基準「公立大学法人下関市立大学学長選考基準」を協議
- 2024年8月2日 理事会から「韓 昌完」氏を推薦する旨通知を受領
- 2024年8月6日 第3回学長選考会議 開催
・理事会から推薦された「韓 昌完」氏について選考の手続きを行うことを決定し、選考の日程、その他学長の選考に必要な事項を確認
- 同日 選考の手続の開始、日程その他を学内に公示
- 2024年8月9日 学長候補者候補「韓 昌完」氏から所信の提出
- 2024年9月6日 第4回学長選考会議 開催
・学長候補者候補「韓 昌完」氏の所信のプレゼンテーションを受け、その質疑応答を実施
・審議の結果、「韓 昌完」氏を学長候補者に決定
- 2024年10月11日 学長選考会議から理事長に学長候補者を報告

以上

2024年6月24日
公立大学法人下関市立大学
学長選考会議

公立大学法人下関市立大学学長選考基準

1. 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学運営に関し識見を有する
2. 本学の3つの理念、2つの目的を尊重し、かつDX化やグローバル化など社会の要請にも対応しうる企画力と判断力、行動力がある
3. 本学の将来に向けた明確なビジョンを有し、教職員との適切なコミュニケーションのもと信頼を得て、戦略的な大学運営にリーダーシップを発揮できる
4. 国際的な視野、経営感覚を有し、積極的な国内外への発信や外部資金の獲得に向けた取組みなどを行える
5. 様々な変化に応え得る柔軟な発想で不断に大学改革を実行できる